

令和2年度 3月号



令和3年2月26日  
文京区立明化幼稚園

## 春の訪れとともに

園長 野田久美子

少しずつ日差しが明るくなってきました。木の芽が膨らみ、園庭のチューリップの葉がぐんぐん伸びて春の訪れを感じさせてくれます。

幼稚園では子どもたちが作った雛人形を飾っています。平面から立体へ、紙から布へ、選べる材料が増え、個々の工夫が広がり、各年齢に合わせた雛人形です。皆いい表情をしていて、見てるとつい微笑んでしまいます。

先日、年長組が「楽しいことを考えて、年中さんや年少さんと呼ぼう」と、『うみそらランド』を開きました。日頃行っているごっこ遊びや興味をもった遊びの中からやりたいことを選び、『世界一短くて怖いお化け屋敷』『NiziU&ケーキ』『うみそらわくわく電車』の3つのグループに分かれて準備を進めました。前日に『うみそらランド』開催のお知らせとともにチケットを渡された年少・年中児は朝から楽しみにしていました。『うみそらランド』で、年少・年中児に優しく関わり、グループで役割を交替し合いながら進める年長児の姿は大きく頼もしく見えました。『うみそらランド』後、「年長さんにお礼をしたい」と手紙やプレゼントを作って届けに行く年中児の姿がありました。また、年長組を真似てお化け屋敷や電車、チケットを作ってお客さんと呼んだり、ダンスを踊って見せたりする姿も見られました。

幼稚園では、このような他学年との交流を大切にしています。今年度はコロナ禍で本来行っていた方法で交流を実施するのが難しくなっています。どのような方法なら行えるか、ねらいを達成するために必要なことは何か、教員間で話し合いを重ねました。お別れ遠足には行かれないけれど園内で交流する方法はないだろうか、当番や誕生会の司会の引き継ぎ、お別れ会はどうするか、安全面に配慮しながらできる方法を考え工夫しながら実施しています。

今年度も最終月となりました。進級・就学への期待につながる活動を通して子どもたちが伸びようとしている気持ちを受け止め、一人一人が自信をもって次の世界に進めるよう寄り添っていきたいと考えております。

この一年間の保護者や地域の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。